

臨床検査技術科

血液検査でわかるコロナ太りについて ～脂質異常検査と糖尿病関連検査～

脂質異常検査

脂質異常症の多くは運動不足や偏った食事、**肥満**などが原因で発症します。



【血液検査について】

血液中に含まれる脂質の数値が重要となります。
LDL・HDLコレステロールの数値と、中性脂肪の数値が必要となります。

【LDLコレステロール】

悪玉コレステロールと呼ばれます。増えすぎると動脈硬化を起こして心筋梗塞や脳梗塞を発症させます。

異常値：140 mg/dl 以上

【HDLコレステロール】

善玉コレステロールと呼ばれます。増えすぎたLDLコレステロールが動脈硬化を促進するのとは反対に、**抑制する**働きがあります。

異常値：40 mg/dl 未満

【中性脂肪】

名前の通り脂肪の一種で、英語で「トリグリセリド」と呼ばれます。皮下組織で増えれば**肥満**につながります。

異常値：150 mg/dl 以上

糖尿病関連検査

糖尿病(2型)の発症リスクの1つとして**肥満**が含まれています。肥満度が高い程、糖尿病の有病率は高くなる傾向があります。



【血液検査について】

血糖およびインスリン分泌能に関する検査があります。

【血糖値】

血液中のブドウ糖の濃さを調べます。
数値は空腹時<食後となります。

異常値：空腹時 126 mg/dl 以上 食後 200 mg/dl 以上

【HbA1C】

過去1~2カ月分の血糖値のあらましを反映し、赤血球中のヘモグロビンに糖が結合したものの割合のことをいいます。

異常値：6.2%以上

【インスリン】

血糖を下げるホルモン的一种で膵臓より分泌されます。継続的な**高脂質、高カロリー摂取**によりインスリンの分泌量が低下し、高血糖状態となります。血液検査では血糖値と組み合わせて測定されることが多いです。

血液検査は2階 臨床検査技術科 検体検査室で測定します。

今回紹介したすべての検査において

採血した当日中に検査結果を知ることができます。



検査を希望される場合は医師にご相談ください。

採血室で血液を7ml程度採取していただければ検査可能です。

これらの検査の他にもたんぱく質、ビタミン、ミネラル検査、各臓器異常検査(肝臓、腎臓、膵臓等)についても対応しています。

《迅速かつ正確な検査データの提供を目指しております》